

第1回基山町総合教育会議

(要点筆記)

日 時：平成29年9月22日（金）午前10時35分～12時00分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：6人

松田町長、大串教育長、田口委員、津川委員、中島委員、松隈委員

欠席委員：0人

事務局：9人

総務企画課：熊本課長、山本係長、下川主査

教育学習課：井上課長、佐藤係長、江島教育指導主事

まちづくり課：内山課長

こども課：平川課長

健康福祉課：中牟田課長

傍聴者：2人

1 開会

2 町長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議題

(1) 幼児期からの就学に向けた支援と連携について

(2) 児童生徒の特性に応じた教育の充実について

(3) 今後の重点施策についての意見交換

5 その他

1 開会

事務局進行

2 町長あいさつ

省略

3 教育長あいさつ

省略

町長進行

4 議題

(1) 幼児期からの就学に向けた支援と連携について

事務局より説明

(町長より説明)

- ・ 保育園・幼稚園は、町内に6園あるが、お互いの連絡は、ほとんどされていない。保育園の待機児童については、町全体で考えないといけないので、保育園の連携は必要であるため、昨年度より町内幼稚園・保育園連携会議を開催している。今年度の4月から臨床心理士による子育て相談等の活動を行っているが、その方によると保育園・幼稚園と小学校や放課後児童クラブとのつながりが薄く、情報共有されていないのが課題と言われている。今後、保育園・幼稚園と小学校との連携を深めていきたいと考えている。

—意見等—

- ・ 小学校と幼保の連携が十分にできていないかもしれない。ただ、教育委員会では定期的に教育指導主事が園を訪問し、就学に向けた情報収集をしている。教育指導主事と幼稚園・保育園の園児に対する考えが違う場合があるが、個人情報であるため、幼稚園・保育園も園児の情報に対して躊躇される面があるため、そのあたりを乗り越えて深く連携しなければいけないと考えている。
- ・ 基山町の幼保小連携については、年3回開催している。支援が必要な園児の連携については、保育園、幼稚園の先生方によって見立てが違う場合があり、それに伴う入学後の課題も明らかになってきている。一昨年より小学校への引継については、従来の3倍程度の時間をかけて、個別にしっかり行うようにしている。さらに、昨年度はスクールソーシャルワーカーを介して、より細かく小学校へ伝達をしている。また、保護者にこどもの医師のカルテみたいなものを書いていただき、園の先生に補記していただいたものを小学校の方に受け渡す個別支援計画の元になる資料がほぼできている。今年度の2回目、3回目幼保小連携において協議をしていただき、書面上の引継と新学期がはじまってからの引継によりいっそう細かいシームレスの引継ぎを検討しているところである。
⇒ (町長) 放課後児童クラブは、教育委員会と関係ないかもしれないが、保護者

からすると学校も放課後児童クラブも区別がないと思うため、放課後児童クラブとの連携もフォローをしていただきたい。

- ・学校の教員も放課後児童クラブは、学校外のことだという意識が強い。放課後児童クラブでは、児童の指導員への暴言等が見受けられるため、日頃より放課後児童クラブと学校、教育委員会との連携を強化していかなければならない。
- ・放課後児童クラブの支援員の方によると、自分たちの大変さが教育委員会へ伝わっているのか不安に思っている。支援員と学校、教育委員会と定期的に情報共有する場を設けたらどうか。

⇒（町長）教育指導主事が一番情報を集約されているので、情報共有についてお願いしたい。ただ、昨年より社会福祉士や臨床心理士により巡回相談を行っているので、悩んでいる方が相談できていることは、プラスになっていると思う。さらに改善し、早めの対応を行っていききたい。

- ・保護者へのサポートを地域できないかと思い、8区では9月から月2回公民館を開放している。こども達が地域の高齢者と触れ合うことで、いろんなことを学べるのではないかと思う。その場所で、臨床心理士による相談を行うことは可能であるか。

⇒（事務局）日程の調整は必要であるが、対応は可能だと思う。

- ・（町長）日が経つにつれて高齢者だけの集まりにならないように注意していただき、8区の取り組みを他の公民館に広げていけるようになると良い。来年度に子育てに関する包括的な相談センターを立ち上げるよう議論しているところである。この相談センターで、ワンストップで安心して相談できるようになると考えている。

- ・幼稚園・保育園連携会議により、園の先生方に変化やメリットはあったか。

⇒（事務局）昨年合同で会議を開催したことにより情報共有だけでなく、互いの園に興味を持たれた。また、イベント開催によりこども達の輪も広がりができてきているのではないかと思う。

- ・（町長）昨年度より開始したので、効果はこれからだと思う。基山町には、バラエティに富んだ園があり、小学校でそれぞれの園から集まってくることで、良い小学校になることは素晴らしいことだと思う。

（2）幼児期からの就学に向けた支援と連携について

事務局より説明

－意見等－

- ・放課後等デイサービスの料金はいくらか。

⇒（事務局）事業所によって異なるが、1回あたり1,000円程度である。基山町の利用者の個人負担の上限額は月額4,600円の方が多い。

- ・（町長）送迎も事業費に含まれているので、近隣だけではなくなっている傾向もある。
- ・放課後等デイサービスを受けるためには、手帳が必須なのか。

- ⇒（事務局）手帳が絶対必須ではない。医師や保健師の意見書があればサービスを受けることができる。
 - ・手帳とは、どういう種類になるのか。
- ⇒（事務局）療育手帳や精神障害者保健福祉手帳である。
 - ・役場に相談したら、どこか事業所を紹介してくれるのか。
- ⇒（事務局）健康福祉課で相談に応じて、事業所の紹介をしている。サービスを受ける場合には、鳥栖・三養基地区総合相談支援センターに相談していただき個別の支援計画を策定している。
 - ・4歳児就学準備の特性検査の後に、気になる項目のあるこどもに対して、どのようにフォローを行っているのか。
- ⇒（事務局）基本的には、それぞれ通っている園や保健センターでフォローを行っている。社会福祉法人洗心和合会へ委託しているため、園や委託業者に引き続き相談できるような体制は整えている。あくまでも調査では、こどもの傾向を見ているため、保護者へ個別にフォローをしている訳ではない。
 - ・特性検査の結果は、幼稚園・保育園へ情報提供しているのか。
- ⇒（事務局）保護者の同意がない限り、基本的には保護者だけである。情報開示に同意している場合には、幼稚園・保育園に情報提供している。
 - ・情報開示の意向チェックに教育委員会は入っていないのか。
- ⇒（事務局）実施場所が通っている園や保健センターであるため、教育委員会は入っていない。
 - ・（町長）4歳児の特性検査については、3歳児では兆候がつかめず、5歳児では検査が遅いということで、4歳児が最適だと言われている。早めに色々な対応をすることにより、改善する傾向にあるためこれからも続けていきたい。今後、さらに分析を行い、早めにフォローすることで、改善につながれば良いと思っている。

（3）今後の重点施策についての意見交換

（町長より説明）

- ・貧困調査・交通安全・歴史教育・国際交流に力を入れていきたいと考えている。これらの項目について、意見交換を行いたい。まずは、今年度行う貧困調査について、事務局より説明をしていただきたい。

事務局より説明

- ・こどもの貧困等が問題になっているため、基山町独自で実態を把握する必要がある。そのため、子育て中の全家庭に関して実態調査を行い、今後の子育ての指針を作りたいと考えている。この指針に沿って、困っている世帯へ支援ができないか検討したい。10月中に業者・アンケート項目を決定し、発送までしたいと考えている。計画の指針作りまでを含め、今年度中に行いたい。

－意見等－

- ・町の機構改革により図書館・スポーツ・文化が教育委員会から移っているが、地方教育行政法では、教育委員会がすべてを管轄しているため、把握しておく義務がある。今後、総合教育会議等において、こども課や健康福祉課とも意見を交わしていきたい。また、就学援助については、教育委員会で定めている基準により協議をして決定しているが、教育委員を通さずに児童扶養手当の受給により事務的に手続きをしている自治体もある。教育委員会として、ひとり親世帯との関わりについては課題であり、貧困調査を含め他の部署とも連携を密にしていきたいため、意見交換の場を設けていただきたい。

⇒（町長）教育委員会を中心として、担当者の連携会議があると思っていた。今後、連携会議を行う必要がある。

- ・対馬との交流事業において、大人でも基山町が対馬藩だったということを知らない方がたくさんいる。そのなかで、対馬市と基山町のこども達が交流することは、良いことだと思う。対馬市との交流については、今後も毎年行う予定なのか。

⇒（町長）対馬市とは、ふるさと納税に関して連携協定を結んでおり、ふるさと納税の寄付の一部については、交流事業に使用するよう協定している。そのため、ふるさと納税の制度がある間は、続けていきたいと考えている。

- ・青少年育成町民会議の夏の登山を対馬市にするなど、定着させることはできないか。

⇒（町長）今後の課題だと思う。

- ・教育指導主事が保護者との話し合いなど業務量が多い。人員を増やす検討をしていただけないか。

⇒（町長）人員については、教育委員会で決めていただく必要がある。正式に教育委員会から要望があれば、県から2人派遣されている自治体もあるため、県へ要望を行いたい。

- ・（町長）防災については、こども達だけでなく、大人を対象に訓練や防災教育をする必要があると思っている。

- ・中学生の自転車マナーの問題については、把握していなかった。学校だけでなく、地域を含めて指導をしていく必要があると感じている。

- ・（町長）自転車については、下り坂でスピードを出しすぎて危ないという意見を多く聞いている。

- ・貧困のアンケートについては、内容を吟味して、基山町の実情に即したアンケートにしてほしい。

⇒（町長）貧困調査の後に施策に踏み込めるような調査を行いたい。調査内容の案ができたなら、教育委員会でも協議していただいたら良いのではないかと。また、教育委員会の会議へこども課も出席したら良いのではないかと。

- ・教育委員会でも、こども課、健康福祉課、総務企画課、まちづくり課の話を知りたいと思っている。意見交換する機会があれば良いと思う。

⇒（町長）こども課は、教育委員会の会議に参加してもよいのではないかと。今後、

連携できるようにしていきたい。私も声をかけていただければ、いつでも参加をさせていただく。情報共有し、基山町を少しでも良い町にしていきたい。

- ・教育委員会の会議日程は、1か月前に決まっているため、資料の提出だけでも良いので、情報共有していきたい。

5 その他

特になし

～12時00分閉会～